

令和2年度

県南地区「学校と地域の連携・協働」活動事例一覧

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
東大曲 小学校	<p>地域再発見「古四王わくわく大作戦」</p> <hr/> <p>地域のシンボル国重要文化財「古四王神社」を主なモチーフとして「古四王フラワーロードづくり」, 「古四王学習」, 「火消しもち祭り」を地域の方々の協力を得て行い、地域を大切に作る心を育くむ活動。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古四王神社氏子の会</li> <li>・地域活性化団体</li> <li>・学校支援ボランティア</li> <li>・イオンモール大曲</li> </ul>	<p>○地域の「ひと・もの・こと」と関わって学ぶことによって、新たな発見やつながりが生まれ、地域を大切に思う気持ちが育まれた。</p> <p>●地域に貢献する意識を高める視点から活動内容の改善を行うこととしている。</p>
花 館 小学校	<p>地域の伝統を守る「かしま流し」</p> <hr/> <p>花館地区で古くから行われている民俗行事を全校児童で行う。縦割りグループでかしま人形作りをする。かしま人形作りや舟作り、舟の材料となるガツギ（マコモ）の採集等に地域の方々の絶大な協力をいただいている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花館地区老人クラブ</li> <li>・PTA総務部</li> </ul>	<p>○自分たちが生活する花館地区の伝統行事とそれを守り受け継いできた方々の心に興味・関心をもち、お年寄りへの感謝の思いや地域を愛する心を育むことができた。</p> <p>●お年寄りの中でも高齢化が進み、ガツギ採集や舟の製作をしてくださる方々の確保が難しくなりつつある。</p>
内小友 小学校	<p>ほたるの里観察～わたしたちのビオトープ～</p> <hr/> <p>5年生が、ほたるの生息地である自然観察公園（ビオトープ）で動植物に触れ、生態系について理解する体験学習。子どもたちが生まれ育った内小友の自然の豊かさを実感するとともに、公園が作られた経緯や工夫を知ることによって地域の方々のふるさとを大切にする思いを学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化対策</li> <li>いきいき会議協議会</li> </ul>	<p>○この活動を通じてより深い地元理解につながっている。ビオトープのような地域の宝物を守っていききたい、さらに、守るための活動に参加したいという思いを高めることができた。</p> <p>●各学年で「内小友」を大きなテーマに学習している。より系統性をもって、他学年との縦のつながりや各教科との横断的な関わりを意識した学習を展開していきたい。</p>
大川西根小学校	<p>公民館と連携した「農業体験活動」</p> <hr/> <p>全校縦割りグループでサツマイモ栽培を実施した。苗植えや収穫のときには、公民館の呼びかけで地域のお年寄りや老人クラブの方々も加わり一緒に作業を行った。5年生は保護者と一緒に米作りを体験した。公民館や地域の農家の方々の協力を得て、苗植えや稲刈りを実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大川西根公民館職員</li> </ul>	<p>○毎年恒例の行事となっていて、子どもたちも楽しみにしている。公民館や地域の方々との連携もスムーズである。今年はコロナウイルス感染拡大を考慮して行った。</p> <p>●お手伝いをいただいている公民館の職員やお年寄りの方々、田んぼを貸してくださっている農家の方々に感謝する場をつくっていききたい。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名/活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果/●課題
藤木小学校	<p>地域や保護者の力を活用したのり巻きづくり</p> <p>-----</p> <p>全校児童を対象にして、のり巻きづくりを体験する。学校田での米づくりを通じて、地元の農業への取組や収穫の喜びを保護者と一緒に味わう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の農家</li> <li>・JA職員</li> <li>・保護者</li> </ul>	<p>○コロナの拡大感染に配慮して形態を工夫しながら実施することができ、児童や保護者にも好評であった。</p> <p>●コロナの拡大感染予防に配慮しながら、より充実した活動にする手立ての工夫が必要である。</p>
四ツ屋小学校	<p>地域と連携して行う「米作り体験学習」</p> <p>-----</p> <p>5年生を対象に田植え・稲刈り・米の販売の3つの活動を体験する。地元のJA職員、農業従事者の指導をいただきながら米作りをして地元にある農産物産直店で米の販売を行う。米の栽培・収穫・販売を通じて、ものづくりの苦労や喜びを地域の方々の協力のもとで学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JA秋田おぼこ営農センター</li> <li>・JA秋田おぼこ青年部</li> <li>・地域ボランティア（農業従事者）</li> </ul>	<p>○ものづくりを通じて、人との触れ合いができることが何よりの成果だと感じている。販売の準備等が大変だが、その分達成感や充実感を味わうこともできた。</p> <p>●今年度はできなかったが農業高校の生徒や近隣のこども園、保育園等との作業を通じての交流も状況に応じて行っていきたいと考えている。</p>
角間川小学校	<p>田植え・稲刈り</p> <p>-----</p> <p>5年生が総合的な学習の時間で、初夏に田植え、秋に稲刈りを体験したり、水田の所有者の方の話を聞いたりする。この活動を通じて、農業を営む方の生き方について学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コーディネーター</li> <li>・水田の所有者</li> <li>・田植えや稲刈りへの地域の協力者</li> </ul>	<p>○手作業で行うため苗の植え方や鎌を使った刈り方を教えてもらい、体験活動をした。米づくりの苦労を実感することができた。</p> <p>●田植えと稲刈りの間でも作業・管理が行われていることを把握できる活動の設定も検討している。</p>
西仙北小学校	<p>地域に伝わる音楽に親しもう</p> <p>-----</p> <p>4年生の音楽の授業に西仙北民謡同好会の方々をお招きし、和楽器（尺八・三味線・太鼓・すりがね等）の説明を聞き、素敵な民謡と演奏を堪能した。多くの児童が太鼓体験コーナーに参加し、指導してもらった。郷土に伝わる民謡や和楽器に親しむことができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西仙北民謡同好会（民謡・踊り・太鼓演奏）</li> </ul>	<p>○郷土に伝わる民謡を聞いたり、和楽器に触れたりする体験を通じて、民謡の特徴、和楽器の音色や仕組みを知ることができた。</p> <p>●同好会メンバーが高齢化してきていて継続的な活動が難しくなっている。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
豊岡小学校	<p>地域と共に歩む「学校田活動」</p> <p>-----</p> <p>全校児童が地域の支援を受けながら学校田の田植えや稲刈り体験をする。その他の稲作に関する活動は、協力してくれる農家の指導を受けながら5年生が総合的な学習の時間で行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水土里ネット田沢疏水</li> <li>・協力農家（稲作指導）</li> <li>・地域住民（田植え・稲刈り手伝い）</li> </ul>	<p>○地域の方々との触れ合いは、子どもたちにとって貴重な体験であり、地域の一員としての自覚の高まりや地域への愛着の深まりを感じることができた。</p> <p>●来年度からの統合小学校で同様の活動を行うことができるか、まだ決まっていない。</p>
協和小学校	<p>めざせ！お米マイスター</p> <p>-----</p> <p>5年生が総合的な学習の時間で、ふるさとの産業に触れ、そのよさを実感するため地域の方々の協力を得ながら米作りに挑戦した。作った米の販売体験や地域の方々の生き方や思いを語ってもらうことを通じて、キャリア教育の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米作り農家</li> <li>・JA職員</li> <li>・PTA</li> <li>・大型ショッピングセンター</li> </ul>	<p>○子どもたちは米作りの苦労と大切さを実感し、米作りへの理解を深めることができた。社会科の授業と関連付けながら体験活動を進めることができた。</p> <p>●学習を通して学んだ地域の米作りの様子や地域の素晴らしさについて、ICT機器を活用しながら子どもたちから発信する機会をより充実させていきたいと考えている。</p>
南外小学校	<p>地域のりんご農家の見学・仕事体験</p> <p>-----</p> <p>「大好き！南外（3年生の総合的な学習の時間）」でりんご農家の見学・枝の剪定・葉取り・玉回し・収穫等の体験を通じて、りんご農家の仕事内容や思いを知り、地域の一員として「南外の農業」についての理解を深める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・りんご農家</li> <li>・地域学校協働活動推進員</li> </ul>	<p>○りんごの木の本数や種類、ハチを使った受粉、作業の大変さや充実感等、実際に見学したり体験しなければ分からないことを実感することができた。</p> <p>●地域学校協働活動推進員にりんご農家との連絡調整をしていただいているが、担任も児童ができる仕事内容や準備について連絡を取り合って活動していきたい。</p>
高梨小学校	<p>「米米探検隊」地域の“お米の先生”から学ぶ</p> <p>-----</p> <p>5年生が総合的な学習の時間で、地域の基幹産業である農業の稲作を取り上げて学習する。地域のJAを窓口として地域の営農集団の“お米の先生”に協力をいただきながら、田植え・稲刈り・米の食べ比べを体験した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営農集団</li> <li>・JA職員</li> </ul>	<p>○農作業を体験することで、その楽しさや苦労を知ることができた。農業への関心や生産者への感謝の心が育ってきた。</p> <p>●新型コロナウイルス感染症対策のため、米料理の調理体験ができなかった。来年度は新型コロナの状況によるが体験させたい。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名/活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果/●課題
横堀小学校	<p>学校田を活用した「代かき（どろんこ遊び）・田植え・稲刈り」体験，収穫感謝祭</p> <p>1，2年生は生活科で代かきを兼ねて土と触れる「どろんこ遊び」をする。4，5年生は総合的な学習の時間で「田植え体験」，「稲刈り体験」をして稲作の現状や課題，工夫等について学ぶ。なべっこの際に収穫したお米でおにぎりを作って全校で収穫感謝祭を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の学校田所有者（管理も委託）</li> <li>・関係学年保護者・祖父母</li> <li>・北寿会（地域の老人クラブ）</li> </ul>	<p>○実際に土に触れたり，米作りに関わる作業をしたり，収穫したお米を味わったりすることで，そのよさや大変さ，喜びを実感することができた。</p> <p>●体験を基に，未来の米作りについて提言するなど地域に働きかけたり，発信したりする活動に取り組みたい。</p>
太田東小学校	<p>地域と共に米作り「なかよし田んぼ」</p> <p>全校で「田植え」や「稲刈り」を行うとともに，総合的な学習の時間で米作りについて学習する5年生は，田植えの前段階である「種まき」や「型付け」，稲刈り後の「脱穀作業」や稲わらを使った「縄織い作業」等を体験する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田んぼの提供者を中心とする地元の農家の皆さん</li> <li>・児童の家族の皆さん</li> <li>・田沢疏水土地改良区</li> </ul>	<p>○手作業での田植えや稲刈り，脱穀などの体験を通じて，昔の農家の苦労や日頃食している米が多くの手間暇をかけて育てられていることを知ることができた。</p> <p>●これまでの田んぼ提供者が今年度で引退されるため，来年度からはこれまでよりも遠方の田んぼを使わせていただくことになっており，全校での取組を維持することが難しい。</p>
太田南小学校	<p>横沢曲がりねぎ植栽活動</p> <p>3，4年生がふるさと教育の一環として，江戸時代より横沢地区で受け継がれてきた「横沢曲がりねぎ」を栽培する。途中成長したねぎを掘り起こして「寝かせ」作業をし，収穫まで2年を要する。収穫した横沢曲がりねぎは，秋のなべっこで全校児童やお世話になった方々に振る舞う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域協働活動推進員</li> <li>・曲がりねぎ栽培農家</li> <li>・農業振興情報センター職員</li> <li>・地元のパン屋</li> </ul>	<p>○地元で伝わる横沢曲がりねぎを栽培したことでふるさとに対する愛着の気持ちが深まった。地元パン屋と連携して「ねぎパン」を作り，好評を得た。</p> <p>●収穫までのスケジュールの中で，児童の関わる活動を増やしていけるよう検討したい。</p>
太田北小学校	<p>第14回全校音楽劇 「みつばちマーヤとゆかいな仲間達Ⅱ」</p> <p>本校では，2007年度から連続14回の公演に取り組んできた。地域と保護者，関係機関との連携のもと，子どもたちの考えたシナリオを基にオリジナルの物語に挑戦した。大仙市中仙市民会館ドンパルでの公演は，好評を得た。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家（舞台監督・演出・脚本）（音響・照明）</li> <li>・バンドメンバー（ボランティア）</li> <li>・本校PTA会員</li> </ul>	<p>○子どもたちはこの音楽劇を通じて，自己有用感を味わい，協力していただいている保護者・関係機関への感謝の心を醸成することができた。</p> <p>●効果的な準備・練習の計画・運用と地域・保護者・関係する機関との密なる連絡調整の必要がある。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名/活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果/●課題
角 館 小学校	<p>地域の力を活用したものづくり体験学習「わくわく・どきどきランド」</p> <p>3年生児童を対象に体験することが少なくなってきたものづくりにチャレンジする。飛行機、ぶんぶんごま、パラシュート、犬のマスコット、パッチン入れ物、干支(牛)ストラップなどを地域の方を講師に迎え、作り方を教えていただきながら交流し、活動する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学校協働活動推進員</li> <li>・地域ボランティア(工作・手芸・裁縫)</li> </ul>	<p>○うまく作れなくて困っている児童にも講師の先生方が成功するように根気強く指導してくださるため、児童は満足感を得られ、ものづくりに対する関心を高められた。</p> <p>●長く携わってくださっている講師の方で交代を希望している方もいる。後進を確保することについて推進員と共に検討している。</p>
白 岩 小学校	<p>地域の伝統工芸で卒業制作</p> <p>6年生は卒業を前に、地域の伝統工芸品である白岩焼を追求し、昔ながらの色を再現しようとしている方々の指導のもと、白岩で採取した粘土で轆轤(ろくろ)を使い、本格的な焼き物を制作する。子どもたちは初めて轆轤を使い、土の感触を味わっている。作品の完成度は高く、作品を大切にしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白岩焼塾</li> <li>・白岩経済文化研究所のメンバー</li> </ul>	<p>○地域の伝統工芸品である白岩焼を自分自身で作ることで、作品の良さを感じ、郷土に誇りをもち、愛着をもつきっかけとなっている。</p> <p>●轆轤を回し、成形するまでは子どもたちが行うが、その後の素焼きや釉薬掛け、本焼き等の工程は指導者が行うため、子どもたちが関われる工程が少ない。</p>
生保内 小学校	<p>ふるさと教育を支える地域学校協働活動「生小応援団」</p> <p>学校のニーズに合わせ、生活科や総合的な学習の時間等で様々な協力を頂いている。</p> <p>1年…昔遊び体験(12月) 2年…まち探検(7月・12月) 4年…仙北市調査・体験(10月) 市のPR・販売体験(11月) 5, 6年…ミシン活動補助(11~12月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生保内地域運営体(販売)</li> <li>・生保内友の会(FW補助・ミシン補助)</li> <li>・おはなしの会アトリエ</li> <li>・SMILE DRAGON(FW補助・立志教育)</li> <li>・田沢湖公民館(昔遊び)</li> <li>・田沢湖語りの会(昔遊び)</li> <li>・西木スキークラブ</li> </ul>	<p>○地域学校協働活動推進員との連携・協働体制が整えられ、新たな団体との連携を進めることができた。そのため、持続可能な活動となっている。</p> <p>●ふるさとの自然・文化・人材・施設等を活用した学習や体験活動を、学年の発達段階に即した学びとなるような全体計画(6年間)の計画・体制の整備。</p>
神 代 小学校	<p>総合的な学習の時間「いぶり大根作り」</p> <p>3年生の総合的な学習の時間の単元。地域住民の生活を支える「農業」の学習を栽培・収穫・加工・商品化・販売とつなげることで、「生活と環境」にまで学びを広げ深めることをねらいとした一連の体験的な学習活動。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域運営体(大根の種まき・栽培・収穫・加工の指導)</li> <li>・デザイナー(商品パッケージデザイン指導)</li> <li>・小売業者(販売)</li> </ul>	<p>○プロのデザイナーや経験豊富な地域の高齢者等から各工程で指導をいただき、様々な人と触れ合う多様な学習活動を通じて、体験的に学ぶことができています。</p> <p>●児童数の減少、長年協力をいただいている方々の高齢化により、充実した学習の継続を見据え活動内容や計画の見直し、新たな人材確保等が必要となる。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名/活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果/●課題
西明寺小学校	<p>地域ふれあい教室</p> <p>市内在住の方々を講師として招き、学年に応じた内容で活動する。文化的活動や地域貢献活動で活躍している方々との交流を通じて、活動への思いや学び続ける姿勢に触れることでふるさとに対する自分の考えを深める。</p> <p>1, 2年…紙工作体験 3年…ヒップホップダンス教室 4年…茶道体験 5年…子ども写真教室 6年…角館美術探訪</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ボランティア（紙工作）</li> <li>・ダンスアカデミー講師（ダンス教室）</li> <li>・地域ボランティア（茶道）</li> <li>・写真館（写真教室）</li> <li>・地元の画家（美術）</li> <li>・西木公民館</li> </ul>	<p>○地域の方々の協力を得ながら学習を進めることで、地域に対する関心の高まりと同時に自分たちの住む地域を大切にしていこうとする思いを更に深めることができた。</p> <p>●講師の高齢化や後継者不足等の問題から、学習活動継続のための人材リストの整理が必要である。</p>
千畑小学校	<p>清水の環境保全</p> <p>毎年5年生が総合的な学習の時間に、地域の方々に案内していただきながら、千畑地域のいくつかの清水を見学したり、地域自治会等の協力を得て、学校の敷地内にあるビオトープの清掃に取り組む。男鹿水族館G A Oと連携し、イバラトミヨの生態についても学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域自治会</li> <li>・美郷町農地・水環境保全組織</li> <li>・仙北地域振興局</li> <li>・地元企業</li> <li>・学校支援ボランティア</li> </ul>	<p>○千畑地区の環境の素晴らしさを実感することができた。また、地域の環境を守るために活動している方々の存在を知り、思いの深さを知ることができた。</p> <p>●今後も地域の方々と協力して行う活動を継続することで、ふるさと千畑を大切にするとともに地域に根ざした児童のキャリア意識を高めていきたい。</p>
仙南小学校	<p>美郷の未来をえがこう！ ～わたしたちの考えるこれからの農業～</p> <p>秋田県の基幹産業である稲作について興味をもたせるために、実際に水田での田植えや稲刈り作業を体験しながら、農家の方が安全でおいしい米を作る工夫をしていることを学ぶ。</p> <p>(1) 田植え体験 (2) 水田観察と生き物調査 (3) 案山子作り (4) 大仙事業場見学 (5) 案山子設置 (6) 稲刈り (7) 収穫祭 (8) わら細工製作体験</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稲作農家</li> <li>・国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 大仙事業場</li> <li>・保護者</li> </ul>	<p>○作業の大変さだけでなく、稲作に携わっている方々の思いや工夫を学ぶことができた。米粉パン等の米離れに対応する農家の工夫にも触れることができた。農業を行程という一面だけでなく、多面的に学ぶことができた。</p> <p>●学校田がないため、毎年協力してくださる方々を学校で探さなければならない。J Aと連携して進められるようにしたい。</p>
横手南小学校	<p>「いいな 大好き 横手川」</p> <p>6年生の総合的な学習の時間の取組。学校の前を流れる横手川の環境について考え、自分たちにできることを実践する。</p> <p>【活動①】横手川沿いのクリーンアップ 【活動②】横手川に生息する魚類についての学習</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地改良区</li> <li>・漁業組合</li> </ul>	<p>○横手川を「環境」というレンズから覗いたことで、児童一人一人が積極的に意識を働かせて横手川を地域の誇りと考え、環境を守ることの大切さについて実感することができた。</p> <p>●全校児童で横手川への思いを共有できるとよいのではないかな。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
朝倉小学校	登下校の見守り ----- 朝倉地区民生委員の方々が毎月0のつく日に、低学年の下校指導を行う。	・朝倉地区民生委員	○入学期にはコロナの影響で活動をしない連絡があったが、有志の方々に見守り指導を行っていただき、新1年生が安心して下校することができた。 ●年々高齢化により見守り隊の人数が減少しており、今後活動が継続できるのか心配である。
栄小学校	気概にあふれる工業団地に学ぼう ----- 6年生の総合的な学習の時間「天屋の里」を通して、栄地区の地元にある第二工業団地、柳田工業団地の7事業所の方々からお話を伺い、仕事への関心や努力する態度の基礎を養い、ふるさと横手を新たな視点で見つめ直し、ふるさとを愛する心を育てる。	・アキタ・アダマンド ・アスター・大橋鉄工 ・京家・サユウ・菅与 ・プレステージ ・インターナショナル ・横手市企業誘致課 ・横手市秘書広報課	○事業所の方々が工夫を凝らしてお話をしてくださったことで、予想以上に子どもたちの心に響いた。7事業所についてPRできるくらいの学びがあった。 ●コロナ禍で各事業所の実際の様子を見ることができなかった。各事業所と調整をして、来校やSkype等の手段を講じる必要があった。
増田小学校	地域の高等学校と連携した果樹栽培活動（3年生） ----- 地域の特産品であるりんごの栽培について、増田高等学校の果樹園を活用し、高校生と協働しながら果樹栽培を体験する。栽培過程における摘果・袋かけ・葉摘み・袋はぎ・シール貼り・収穫を体験し、その活動と関連させてJAふるさとのジュース加工所での見学を通して地域の生産活動や食文化を学ぶ。	・増田高等学校農業科学科 ・JAふるさと職員	○りんごの栽培過程を通して、生育状況を観察したり、育てる際の配慮事項を知ったりするなど果樹栽培についてたくさん学ぶことができた。 ●活動の計画や運営については、高等学校側によるところが大きいことから、より充実できるように小学校としての関わり方についての検討をしていきたい。
浅舞小学校	ひまわりプロジェクト2020 ----- ひまわりを中心とした人と関わる体験活動を通じて、自然や地域の方々のよさを感じ、ふるさとを大切にす る心情を育てる。 ・ひまわりの栽培・種取り ・ひまわり絵画コンクール・絵画展 ・ひまわり油の販売と収益金の地域への還元	・地域の農家（用地・起耕） ・田中ボランティア ・JA青年部 ・浅舞街部地区会議 ・横手市社会福祉協議会 ・浅舞地区の保育所・園 ・平鹿中学校美術部 ・横手支援学校	○地域や家族に支えられて活動していることが実感でき、活動に協力してくださった方々への感謝の気持ちを育むことができた。 ●新型コロナウイルス感染予防のため地区の方々からの協力が間接的なもの多くなり児童の協働の実感を高める工夫について検討する必要がある。

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名/活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果/●課題
吉田小学校	<p>稲刈り体験学習（5年）</p> <p>地域の田んぼを借りて田植え・稲刈りを体験し、収穫した米を使って全校でおにぎりを作り、祖父母や家族、地域の方々にごちそうをする予定であった。社会的な情勢により、今年度は稲刈り体験だけを行った。稲を手刈りし、機械を使って脱穀する体験をした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米づくり農家</li> <li>・田植え、稲刈り支援ボランティア</li> <li>・JA職員</li> </ul>	<p>○体験を通じて、作物を収穫する喜びを味わうことができた。また、農家の方々の工夫や苦労について知ることができた。</p> <p>●収穫に感謝し、祖父母や地域の方々との交流だけでなく、地域の伝統芸能などを取り入れたふるさと教育の推進の一つとして行事をつくれないうか、検討している。</p>
醍醐小学校	<p>「キラリ 食と環境調査隊」 （総合的な学習の時間、社会科とも関連）</p> <p>地域の方から水田を貸与していただき、代掻き・田植え・稲刈り等、稲作を体験的に学んだ。週1回の稲の観察会では、稲の生育や仕事の内容等について説明を受けたり、質疑応答をしたりする機会を数回設けた。収穫した米はPTA親子レクリエーションで一緒に味わった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米作り農家</li> <li>・JA秋田ふるさと</li> </ul>	<p>○体験を通して学習することで人や自然に触れ、自らの食生活や環境との関わり、働く人や食への感謝の気持ちを高めることができた。</p> <p>●新規の取組であり、活動計画の立案が年度当初となったので迷惑をかけた点もあった。今後、継続していくためには、前年度から依頼や協力体制の構築が必要である。</p>
雄物川小学校	<p>年末年始伝承行事体験</p> <p>地元の民家苑木戸五郎兵衛村の旧石黒家で、地域に伝わる年末年始行事体験（しめ飾りづくり・若水汲み・灸立て・餅つき）を5年生を対象に行い、行事に込められた地域の人々の願いに触れている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横手市子ども会育成連合</li> <li>・雄物川町文化財保護協会</li> </ul>	<p>○地域理解を深めるとともに、地域の方々との交流を通じて、自分も地域の一員であるという自覚と地域のよさを大切にしようとする思いをもつことができた。</p> <p>●地域行事を伝える人材が高齢化し、受け継ぐ児童数も減少している。地域のよさを積極的に継承していこうとする意識を高めていく教育活動を工夫したい。</p>
十文字第一小学校	<p>「食から見つめる横手のよさ」（5年生）</p> <p>地元の食を支える農家や食品加工業者を訪ね、日々の工夫や努力について学ぶ。また、米作りや米料理を体験することによって、横手の食の豊かさについて学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜生産農家</li> <li>・食品加工業者</li> <li>・道の駅 十文字</li> <li>・JA職員</li> <li>・JA女性部</li> </ul>	<p>○農家で収穫体験をしたり、話を聞いたりすることによって、作業の大変さや食を支えてくれる方々のありがたさを実感できた。</p> <p>●お世話になった方々へ、それぞれお礼の手紙を差し上げたが、地域のよさを発信できる活動の場がもっと設定できればよかった。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
十文字第二小学校	<p>第62回「孫の教育を語る会・学習発表会」</p> <p>学習田では二小を語る会やPTAの協力を得て餅米を栽培している。今年度はコロナ禍のため、餅つきは行わずに業者委託して餅を配布した。餅米の販売体験では、児童が地域住民と一緒に収穫を喜んだ。児童との交流が制約されるため、学習発表会を同時に行って、家族や地域住民に感謝の気持ちを表した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二小を語る会（学校後援団体）</li> <li>・横手市三重公民館</li> <li>・二小PTA</li> <li>・JA十文字営農センター</li> </ul>	<p>○お世話になった方々に感謝する気持ちやふるさとを大切にすることを育てることができた。今年度末で閉校になるため、思い出に残る会になった。</p> <p>●今年度は飲食を行わず、PTAの負担が小さくなった。閉校となるので、この会も最後になって惜しまれた。今後は学習田をどのように活用していくか検討したい。</p>
睦合小学校	<p>第46回学区一周駅伝大会</p> <p>本校では、今年で46回を数える「学区一周駅伝大会」が10月17日に行われた。全校児童79名が4チームに分かれて襷をつなぎ睦合地区全町内18.4km、20区間を力走する最後の大会である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通指導隊</li> <li>・交通安全協会</li> <li>・横手警察署</li> <li>・学校支援ボランティア</li> <li>・PTA役員</li> </ul>	<p>○地域の方々に見守られながら最後の大会を盛り上げようと、児童は走ることに耐え、次の走者へ襷を渡すことができ、チームが一体となって取り組むことができた。</p> <p>●統合校での継続実施は難しいが、睦合地区に続く行事として公民館等の関係機関と連携しながら継続したいという地域の声もある。</p>
山内小学校	<p>山内の特産品「いものこ」を育てよう</p> <p>「いものこ（里芋）」栽培を通して、ふるさとの自然や人々、文化・産業に触れるなかで、ふるさとのよさを発見し、地域の一員としての自覚やふるさとへの愛着の気持ちを育むことをねらいとしている。定植作業・土寄せ体験・収穫をいものこ農家の方々に指導していただきながら、主に全校児童縦割り班で行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いものこ農家の方</li> </ul>	<p>○収穫した「いものこ」を種苗交換会へ出品し、「学校農園展優秀賞一席」を受賞した。地域への理解と愛着を深めるとともに、地域に対する誇りをもつことができた。</p> <p>●収穫した「いものこ」を老人施設や保育園へ、プレゼントしているが、地元品の販売店と協力して広くアピールすることも考えていきたい。</p>
大雄小学校	<p>飛び出せ大雄っ子活動 6年食農体験学習</p> <p>枝豆の作付けや収穫体験、その大豆を使っての味噌仕込み等を通じて、横手の農業と食文化について関心を持ち、郷土を大切にしようとする気持ちを育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横手市農林部食農推進課</li> <li>・横手市園芸振興拠点センター</li> <li>・よこて発酵文化研究所（醸造・発酵部会の方々）</li> </ul>	<p>○収穫の大きさや喜びを味わった。味噌作りに携わる方々との交流を通じて、横手の発酵文化を継承・進化させようと努力をしている方々の思いを知ることができた。</p> <p>●自分たちで作った味噌を使っての調理や家庭とつながる活動を行い、さらに体験活動を充実させていきたい。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名/活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果/●課題
湯沢東 小学校	<p>知ろう 体験しよう 犬っこ祭り</p> <p>5年生を対象に地域の伝統行事である犬っこ祭りの歴史を学んで理解を深め、伝統的に受け継がれてきた米粉をこねて犬の形を作るしんこ細工を体験する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援ボランティア (歴史の講話) (しんこ細工指導)</li> </ul>	<p>○受け継がれている行事には理由があることを理解し、伝統行事のよさを感じることができた。</p> <p>●しんこ細工を指導していただく方々が、少なくなってきた。</p>
湯沢西 小学校	<p>湯沢のじまんを見つけよう～地域の技を学ぶ～</p> <p>3年生の総合的な学習において、湯沢市の伝統行事や伝統工芸等に携わる方々を講師として迎え、由来や作製に係る苦勞を「技」として体験学習を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵どうろう指導者</li> <li>・まなぐ凧制作者</li> <li>・工芸家具職人</li> <li>・稲庭うどん職人</li> <li>・佐竹太鼓指導者</li> <li>・アクセリー制作者</li> </ul>	<p>○地域の伝統工芸・行事を体験し、技の体験を通して学ぶことで、深く、広い学びにつなげることができた。</p> <p>●講師との連絡や日程調整に難儀した。体験内容によっては材料費の負担が生じた。</p>
三 関 小学校	<p>学校支援事業による学校清掃への協力</p> <p>学期末に実施している清掃強調週間（ロッカーや窓の棧・ゴミ箱等、普段清掃の行き届かない箇所を清掃する1週間）の時に、学校ボランティアの方々とともに清掃をする。主にトイレや水飲み場等、児童だけでは難しい箇所に入ってもらい、掃除の仕方を学びながら一緒に学校をきれいにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コーディネーター</li> <li>・保護者</li> <li>・地域住民</li> </ul>	<p>○児童は「清掃の仕方を学び今まで以上に清掃箇所をきれいにできた」こと、ボランティアの方は「一緒に活動し、喜んでもらった」ことで双方とも充実感を味わうことができた。</p> <p>●取組の周知に力を入れ、ボランティアの数を増やし、強調週間だけでなく、定期的な活動にしていきたい。</p>
山 田 小学校	<p>地域の方に支援していただいた「野菜栽培」</p> <p>1, 2年生を対象に生活科の野菜栽培を土作りから行った。栽培活動中も野菜先生として栽培時の工夫について教えていただいた。2年生は町探検で農家や野菜栽培の会社に行き、実際の野菜作りの様子を見学した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援ボランティア</li> <li>・野菜作り農家</li> </ul>	<p>○土作りから自分たちで行ったことで、意欲と愛情をもって野菜を育てることができた。地域の産業について学ぶことができた。</p> <p>●農家の方々との打ち合わせや連絡調整を密に行い、子どもたち自らが気付き、活動していくことができるような学習過程を工夫していくことが大切である。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名/活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果/●課題
須川小学校	<p>地域再発見！「I LOVE すかわ 夢プロジェクト」</p> <p>閉校後も地域の一員として生きる夢や誇りをもてる児童を育むために、社会で活躍している地域出身の方々に地域のよさを感じられるお話を聞くプロジェクトを行った。（対象：全校児童）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジオガイド（地区センター職員）</li> <li>・地元出身有識者</li> <li>・副市長</li> <li>・農業体験指導者</li> </ul>	<p>○児童は自分の地域のことなので興味をもって話を聞いていた。全員が地域への愛着と誇りを感じ、閉校後も「須川」の未来を担っていこうとする意欲を高めていた。</p> <p>●来年度の統合により、統合校での実践にどのように取り入れていくのが課題である。</p>
稲庭小学校	<p>桜の手入れ作業</p> <p>4～6年生を対象に地域の「桜を守る会」の方々と一緒に校舎周辺の全ての桜の根元に肥料を蒔いたり埋めたりする作業を体験する。「桜の学校」を誇りにし、大切にしている方々の思いを知り、自分たちも大切にしようとする心情を育てる。令和4年度に統合となるため、令和3年度が最後の手入れ作業となる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稲庭の桜を守る会</li> </ul>	<p>○肥料を与える作業の大変さとともに、満開を楽しむにす気持ちや愛校心を十分に培った。</p> <p>●今後の保存活動を模索していかなければいけないと考える。</p>
三梨小学校	<p>地域の力を活用した「米作り体験」</p> <p>5年生を対象に米作り体験を行う。苗作り・田植え・稗抜き・稲刈り・脱穀の作業を体験し、地域の産業について学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援ボランティア（米作り体験）</li> <li>・美土里ネット職員</li> </ul>	<p>○収穫した米は、全校の餅つき会に使用されるため、収穫の喜びと人々の役に立つことを体感できた。また、作業の大変さや農地を守る地域の方々の苦勞を知ることができた。</p> <p>●コロナの自粛期間と重なり、例年行っていた苗作り・稗抜き・脱穀作業ができず、活動は縮小された。</p>
川連小学校	<p>コロナに負けるな！布マスクづくり</p> <p>4月当初、マスクが品薄で手に入らなかった時期に、学校支援ボランティアの助けを借りて6年生が家庭科で布マスクづくりに挑戦して、一人2枚のマスクを製作した。同時にボランティアの方々に1～5年生分、一人2枚のマスクを製作していただき、全校児童に配布した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援ボランティア</li> <li>・地域コーディネーター</li> </ul>	<p>○急な企画であったが多くのボランティアに御協力いただいた。直接子どもを指導しなくても、家庭でマスクを製作し、届けてくれた地域の方々がたくさんいた。</p> <p>●今回は、臨時休校になる直前で慌ただしい中での活動であったが、今後もこの状況が続くのであれば、きちんとした計画の基で実施していきたい。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名/活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果/●課題
雄 勝 小学校	<p>地域ボランティアの協力による「花いっぱい運動」と「農園活動」</p> <p>地域ボランティアが児童のプランターへの花植えを支援した。1年生は併設する雄勝中学校の3年生と一緒にプランターの花植えをし、環境美化に取り組んだ。4年生は農園活動で収穫した枝豆を地元にある「おがち道の駅」で販売し、地域住民との交流を深めた。</p>	<p>&lt;花いっぱい運動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援ボランティア</li> <li>・市福祉課</li> </ul> <p>&lt;農園活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援ボランティア</li> <li>・JA</li> </ul>	<p>○中学生や地域の方々と触れ合いながら活動をする中で、コミュニティとの関わり方を学習する機会となり、地域におけるキャリア教育の場が確保できる。</p> <p>●花や農作物を管理する体制に、配慮が必要になる。</p>
皆 瀬 小学校	<p>地域の人から学ぼう「働くって どんなこと」</p> <p>5, 6年生を縦割り5グループに分け、グループごとに働くことの意義について話を聞く。「仕事の内容・魅力・苦勞」、「働くことによって得られる喜び・満足感」、「その仕事について理由」、「今学んでいることが将来にどうつながるか」について学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会</li> <li>・湯沢市役所</li> <li>・皆瀬保育園</li> <li>・皆瀬更生園</li> <li>・地域おこし協力隊</li> </ul>	<p>○「これからの生活で大切にしたいことや人のために何かをすることがとても大切なことを知った。」というような前向きな振り返りがたくさんあった。</p> <p>●子どもたちだけでなく、保護者にも呼びかけて勉強する機会にしたい。</p>
西馬音内小学校	<p>西馬音内盆踊り集会</p> <p>低・中・高学年別に西馬音内の伝統芸能である盆踊りの踊り方を学び、地域の伝統文化を伝承していく心を育てていく。(全学年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西馬音内盆踊りサークル「北の盆」</li> </ul>	<p>○本番の西馬音内盆踊りは中止になったが、地域の方々から踊り方を習うことでふるさとの伝統文化に触れ、郷土への愛着を深める機会となった。</p> <p>●低学年は体験で得た学びを教科等の学習とつなげて行くことも必要である。高学年は踊り方を学ぶだけでなく、別の視点での学びを組み入れることも考えたい。</p>
三 輪 小学校	<p>地域の伝統芸能にふれよう「野中人形芝居」</p> <p>3年生の総合的な学習の時間に、野中人形芝居の座員の方々に学校に招き、歴史や現在の活動の様子、人形の操作等を教わる。2回目の学習では、実際に人形芝居の舞台を3, 4年生で鑑賞する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野中吉田栄楽一座(座員3名)</li> </ul>	<p>○学区内で活動する県指定無形民俗文化財の人形芝居に触れる貴重な体験ができた。地域の一員としての座員の思いが児童の心に強く響いたようである。</p> <p>●毎年継続して総合的な学習の時間等で活用していければよい。クラブ活動等を通じて、地域の民族芸能の伝承という観点で今後の活動を検討していきたい。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名/活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果/●課題
羽後明成小学校	<p>祖父母ふれあいなべっこ会</p> <p>-----</p> <p>祖父母のみなさんや地域のお年寄りを招待して交流したり、いものこ汁のなべを囲んでなべっこ会をしたりしている。前段では郷土の偉人「佐藤信淵」の紙芝居や体操を地域の方々に披露していただく。郷土の偉人の生き方を学び、共に汗を流す機会とし、学校農園で収穫した里芋を使ってのなべっこ会で交流を図る行事。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会</li> <li>・地域学校協働本部</li> <li>・PTA文化研修部</li> <li>・社会福祉協議会 (新成支会・明治支会)</li> <li>・JA職員(学校農園)</li> <li>・地域ボランティア (紙芝居語り) (座ってできる体操)</li> </ul>	<p>○今年も好評であった。直接的な触れ合いはなくても、紙芝居や体操を通して心が温まる時間となった。笑顔でいものこ汁を味わう姿が多く見られた。</p> <p>●触れ合いの方法を様々なことに配慮しながら、検討していきたい。</p>
高瀬小学校	<p>高瀬っ子 夢キラッとプロジェクト</p> <p>-----</p> <p>ふるさとのよさを知り、ふるさとに生きることに誇りと喜びを感じるとともに、地域の方々と関わりながら伝統を継承していこうとする意識と夢を育むことをねらいとして行っている。3年生以上が総合的な学習の時間とキャリア教育の一環として、田代太鼓・仙道番楽・西馬音内盆踊りを学び、学習発表会等で発信している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域芸能保存団体 (太鼓)</li> <li>・地域伝統芸能保存団体 (仙道番楽) (西馬音内盆踊り)</li> </ul>	<p>○指導団体の方々の丁寧な指導、それを受けて熱心に練習する児童の姿勢が相乗効果を生み、芸能を通して心の交流が図られている。年々技術も向上している。</p> <p>●3つの芸能をローテーションして体験していく際のモチベーションの高め方とより多様な発信の方法と機会について模索している。</p>
東成瀬小学校	<p>ふるさと先生に学ぶ「地域の自然」</p> <p>-----</p> <p>3年生が季節の変化に応じて村の自然について学びを深める。地域支援コーディネーターに相談し、実際に村内に出かけたり、ふるさと先生から学ぶ機会をもったりする。地域の施設「まるごと自然館」や「ふるさと館」を活用し、館長から写真や実物の説明を聞くこともできる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援ボランティア</li> </ul>	<p>○資料で調べたことであっても自分で体験、観察することで新しい発見があり、地域の自然を大切にしていきたいという思いが育まれる。</p> <p>●感染症予防対策により、活動の制限があった。その結果、活動場所等についてふるさと先生の熱意と学校の考えとの折り合いの付け方については今後の課題である。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名/活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果/●課題
大曲西 中学校	<p>地域と連携した「心のバリアフリー学習」</p> <p>-----</p> <p>教育活動の核となる「心のバリアフリー学習」を地域の関係団体と連携して実施する。                      1年「菜の花タイム」, 「認知症サポーター養成講座」                      2年「支援学校とのポッチャ交流会」                      3年「車いすバスケットボール体験教室」, 「がん教育講座」</p>	<p>&lt;菜の花タイム&gt;                      ・人権擁護委員会                      ・見守りボランティア</p> <p>&lt;認知症サポーター養成講座&gt;                      ・社会福祉協議会</p> <p>&lt;車いすバスケットボール体験教室&gt;                      ・車いすバスケットボールクラブ</p> <p>&lt;がん教育講座&gt;                      ・がん専門医, がん経験者</p>	<p>○「人が困っているときは進んで助ける」「人の役に立つ人間になりたい」と、情意面アンケート結果では「あてはまる～ややあてはまる」がほぼ100%である。</p> <p>●コロナ禍のため、規模の縮小や未実施の活動があった。</p>
大曲南 中学校	<p>角間川地区 (1/22) 藤木地区 (2/1) 42歳厄払い梵天</p> <p>-----</p> <p>この地区には、42歳の厄払いの方々が生かすに梵天を奉納する前に、梵天を披露するために学校を訪問する伝統がある。全校を代表して3年生に、無病息災、全員合格を祈願し、梵天唄を披露してくれる。それに対して3年生の有志が御礼に梵天唄を返す。地域の先輩後輩の絆を強く感じるひと時である。</p>	<p>・角間川昭和55年会                      ・藤木昭和55年会</p>	<p>○地域の方々と交流する機会が増え、自分も地域社会の一員であることの自覚が深まり、自分たちからも積極的にあいさつ等ができるようになってきた。</p> <p>●学校と地域がより連携して相互に協力し合う体制を作り上げていく必要がある。</p>
豊 成 中学校	<p>地域の力を活用した「農業体験学習」</p> <p>-----</p> <p>2年生が対象。豊成地区の基幹産業である農業に関する学習や体験を通じて、ふるさとのよさを学び、ふるさとの未来に対する自分なりのビジョンを描く。                      ・「先輩と語る会」OGの若手農業後継者から、地域農業の課題や展望を聞く。                      ・豊成地域5カ所に分かれて農業体験学習をし、活動レポートを作成する。</p>	<p>・若手農業後継者                      (「先輩と語る会」講師)</p> <p>・地域の花卉栽培農家                      ・地域の枝豆栽培農家                      ・地域のトマト栽培農家</p>	<p>○身近な産業ではあるが、この地域で暮らしていてもあまり体験することのない農業を直接体験し、地域の農業や将来働くということに関心をもつことができた。</p> <p>●今年度で閉校となるが、統合する中仙中学校でも続けていきたい活動と考えている。</p>
協 和 中学校	<p>地域再発見「協和の昔と今、そして未来」協和ツアー</p> <p>-----</p> <p>協和地域の史跡や施設等を訪問して、歴史や文化について理解と見識を深め、地域に対する関心を高める。</p>	<p>・戊辰公園                      (滝沢清寿さん)                      ・農事組合法人たねっこ                      ・大盛館                      ・道の駅協和                      ・唐松神社                      ・奥田酒造店</p>	<p>○コロナ禍の中、市バスの利用条件である1時間以内の場所をクリアしながら地域について知るきっかけになった。市で事前に戊辰公園の除草をしてもらえた。</p> <p>●訪問箇所が多くなり、1カ所につき40～50分と短時間であったが、立ちっぱなしや説明時間の不足等、事前の調整が必要であった。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名/活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果/●課題
南 外 中学校	茶道体験学習 ----- 茶道の心や作法の学習を通じて、郷土に対する誇りや郷土愛を育み、心の豊かさを培う。	・茶道裏千家同好会 ・南外公民館 ・大仙市地域おこし協力隊員	○2年生を対象に日本の伝統文化を体験することにより、日本文化について理解を深め、マナーの大切さや相手を思いやる精神を育むことができた。 ●学んだことを披露する機会を検討したい。一昨年までは学校祭でお手前を披露していた。
角 館 中学校	ようこそ先輩「先輩から学ぶ」時間 ----- 地元の事業所等で活躍する本校出身者を中心とした講話。講師は地元で地域の活性化に貢献し、秋田の発展を支えようという気概に満ちた方々である。この活動を通じて、郷土の課題や展望、適切な進路選択について考え「高い志と公共の精神をもち、秋田の将来を支えていく人材の育成」を図る。	・設計/測量事務所（設計/測量士） ・高等学校（教員） ・こども園（保育士） ・洋菓子店（菓子職人） ・劇団（舞台役者）	○P T A参観日に実施し、P T A総務部の協力を得て進めることができた。講師の人選に保護者も関わることで、幅広い分野から講師を招くことができた。 ●感染症予防対策のため、職場体験等が制限されたり、依頼がかなわなかった業種があったりしたため、生徒の適性に応じたより多くの講話を聴講できるよう検討している。
西明寺 中学校	西木音頭講習会 ----- 全校生徒を対象に、地域の伝統芸能である西木音頭の舞踊を習得する。講習を通じて、郷土の一員としての自覚を深めるとともに、お盆後に行われる「戸沢氏祭」に参加する意欲を喚起する。	・仙北市教育委員会 生涯学習課（西木公民館） ・西木地区婦人会	○小学校でも経験しており、講習はスムーズに進めることができた。講師の方々も顔見知りで世代を超えた交流が見られ、郷土を愛する心情が深まった。 ●小学校と合同で実施すれば交流もより深められると思うが、「密」を回避することを考えると開催する場所がない。
美 郷 中学校	「みさと働きびと」を活用した地域人材によるキャリア教育 ----- 美郷町教育委員会が発行している「みさと働きびと」に紹介されている方々を学校に招き、講話や体験活動を通じて、働くことや学ぶことの意義について考え、自己の進路実現に向けて取り組む。	・美郷町教育委員会 ・地域の事業所 ・地域で働く皆様	○地元で働く人の講話を聞くことにより、ふるさとに愛着をもち、自己の進路実現に向けて深く考える機会とすることができた。 ●町内3小学校と連携し、「みさと働きびと」を活用したキャリア教育の有効活用を図り、さらなる充実を図っていきたい。

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名/活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果/●課題
横手北 中学校	総合的な学習の時間（2年） 「未来を拓くキャリア教育～中学生向け企業説明会」 ----- 地元企業の仕事の内容や魅力を知り、将来の夢や職業への関心・意欲を高める。	・横手市内企業8社16名 ・平鹿地域振興局11名	○生徒の進路の意識が高まる機会になった。個々が3つの企業の説明を受けるように計画したため、様々な企業を比較することができてよかった。 ●8つの会場で電子黒板や大型テレビを使用するため準備に難儀した。他の学年の授業にも迷惑をかけてしまった。
平 鹿 中学校	未来を拓くキャリア教育!!～中学生向け企業説明会～ ----- 秋田県平鹿地域振興局が主催する事業を活用して、2年生を対象に各ブースごとに分かれて地元企業担当者が中学生向けに企業説明会を行う。	・(株)吉田建設 ・(株)Nui Tec Corporation ・(株)フレンドール ・社会福祉法人ひらか福祉会 ・(有)日野 ・(株)アスター ・モノクロ株式会社	○キャリア教育の視点で地元企業の特色を学び、自己の将来の展望に役立てることができた。 ●さらに幅広い業種の方々に説明してもらえるとよい。今年度初めての事業であったが、今後も継続してもらいたい。
十文字 中学校	和紙を使った卒業証書用紙の作成 ----- 2年生を対象に、地域の伝統工芸である十文字和紙づくりに携わる方々の指導の下、十文字和紙づくりを体験する。作成した和紙は卒業証書の用紙として使用し、卒業式で卒業生に贈られる。	・十文字和紙づくり職人	○地域に受け継がれてきた伝統工芸に触れることは地域の再発見となった。作成したものが卒業生に贈られることで、活動に誇りがもて、自信につながった。 ●和紙づくり自体に継承者等の課題が存在しており、それによって活動が左右される。
湯沢北 中学校	地域人材を活用した「生き方講座」 ----- 職業人として地域で活躍している方々を講師として学校に招き、全校生徒縦割りにして、あらかじめ選択したコースに分かれ、講話や意見交換をして地域の方々から生き方を学ぶ。生徒自らの職業観や勤労観を醸成し、将来をたくましく生き抜く意欲を喚起する。	・森の案内人 ・薬剤師 ・精密機械製造 ・パティシエ ・塗装業 ・消防士 ・園芸農業 ・介護福祉士 ・販売員 ・警察官	○生徒が設定した課題について、自分の考えを述べたりアドバイスを得たりすることができた。自らの生き方について具体的なイメージをもつことができた。 ●PTA授業参観や学校運営協議会との同日開催にして、保護者や協議会委員の方々も参観したが、来年度はその場で意見交流するところまで高めていきたい。

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
稲川中学校	<p>地域に支えられ、激励されていることを実感する行事</p> <p>-----</p> <p>毎年受検シーズンになると地域から受検生を応援する様々な名産品が贈呈される。受検生はこの行事を通じて地域に支えられ、激励されていることを実感するとともに、地域に愛着をもち、感謝し、貢献したいという意欲につながっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A職員</li> <li>・ 漆器職人</li> <li>・ うどん組合</li> <li>・ 地域商店</li> </ul>	<p>○落ちないリンゴは29年目、合格箸は19年目、合格うどんは15年目、紅白おにぎりは5年目。地域からの激励を受け、マスコミにも取り上げられた。</p> <p>●恒例になっている感があり、生徒は当たり前のよう感じている。今後は、地域や社会にどのように関わり、貢献するか等を考えさせる機会としたい。</p>
雄勝中学校	<p>「ふるさと紹介手作りPR動画」制作</p> <p>-----</p> <p>昨年度の1年生が総合的な学習の時間に作成して雄勝地域全戸に配付した「私たちのふるさと雄勝」紹介パンフレットを発展させ、今年度はPR動画を制作した。湯沢ストリート村の方々の協力を得て制作に取り組み、学校祭や青少年育成湯沢市民大会の場で披露した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 湯沢ストリート村</li> <li>・ 道の駅おがち</li> <li>・ 向野寺</li> <li>・ 秋の宮山荘</li> <li>・ 高橋正作さん生家</li> <li>・ 雄勝観光協会</li> <li>・ 横堀地域づくり協議会</li> <li>・ ジオパークガイド</li> <li>・ 小町園</li> <li>・ 湯の沢温泉</li> <li>・ 川原の湯っこ</li> </ul>	<p>○視点を工夫して撮影したり、ドローンで撮影していただいた映像を利用したりして完成させ、地域をより深く知り、発信することができた。</p> <p>●制作した動画を紹介する範囲が限られている。今後、DVDにして各事業所等に配付しPR活動の範囲を広げていきたい。</p>
皆瀬中学校	<p>職場体験学習</p> <p>-----</p> <p>2年生を対象に地元皆瀬で職場体験学習をする。この活動を通じて、地域の職業を知るとともに地域の方々の学校や生徒に対する思いを感じ取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A</li> <li>・ 建設業</li> <li>・ 縫製業</li> <li>・ 小学校</li> <li>・ 保育園</li> <li>・ 食品加工業</li> <li>・ 製材所</li> </ul>	<p>○コロナ禍ではあったが、地域の職場に例年同様快く引き受けていただいた。1日だけではあったが、生徒にとって充実感のある貴重な体験ができた。</p> <p>●様々な条件があり、同じ時期に一齐に実施するため、日程を調整するのが難しい。</p>
羽後中学校	<p>伝統文化継承のための「盆踊り体験学習」</p> <p>-----</p> <p>1年生を対象に西馬音内盆踊りの体験学習を行う。指導を受けながら学校祭での学年演劇へとつなげた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 盆踊り保存会</li> <li>・ 地域学校協働本部</li> <li>・ コーディネーター</li> </ul>	<p>○国指定重要無形文化財としての伝統や歴史を学ぶことで、郷土愛の深まりが見られた。盆踊りクラブの指導も例年通りしていただいた。</p> <p>●盆踊り自体が中止となる中での継承の在り方について悩みながら進めた。</p>

〔活動内容〕① 地域住民等に支援してもらい、学校の教育活動を行っている活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
大 曲 支援学校 せんぼく校 (中学部)	<p>作業学習で取り組む「鎌足和紙」作り</p> <p>-----</p> <p>作り手が途絶えたが、平成11年に復活した鎌足和紙。中学部の生徒がこうぞの皮はぎ・紙すき・製品作りの工程を分担して和紙作りを行っている。こうぞの管理や収穫にも関わっている。よい紙作りを目指して専門家から指導や助言をいただいている。地域の方々と紙すきを通じて交流も行っている。</p>	<p>・仙北市活性化施設 「かたくり館」</p>	<p>○独自性のある作業学習を続けることができている。専門家や体験をした方々から生徒の取組の様子を承認され、意欲につながっている。</p> <p>●協力を得て作るだけでなく、地域のために鎌足和紙を広く知ってもらう取組が必要である。製品開発や販路についても専門家や地域の方々のつながりを生かしたい。</p>
横 手 支援学校	<p>「横手が舞台」～山内いものこの栽培、収穫体験～</p> <p>-----</p> <p>小学部6年生児童，中学部農耕班生徒を対象に，横手の伝統野菜である山内いものこの植え付けや収穫を体験することで，地域の産業やそれに携わる方々の仕事の様子を知るとともに，生産に関わる基礎的な技術を身に付ける。</p>	<p>・山内いものこの農家</p>	<p>○農家の方々から教わった方法で，学校でもいものこの栽培に取り組んだところ，見通しをもって作業できた。たくさんのいものこを収穫し，達成感を得られた。</p> <p>●植え付けや収穫だけでなく，さくりかけ等作物の管理に関わる作業も体験できるように検討していきたい。</p>

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
大 曲 小学校	<p>地域活性化へ「地域での学習を地域へ還元・発信」</p> <p>支援をいただくだけでなく、地域への還元・発信を単元の全体計画に位置付けた。2年生は生活科でお世話になったお店へ図工の作品を展示した。4年生は花火の学習を基に全校に呼びかけてエール花火への感想やお礼を手紙にまとめ、はなび・アムに展示した。5年生は地域の食をPRするためのポスターを作成し、関連するお店に掲示した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大曲商工会議所青年部</li> <li>・花火通り商店街</li> <li>・はなび・アム</li> </ul>	<p>○学校として初の試みであった。地域の方々が児童の作品を温かい気持ちで見てくださいたり、学校の取組について理解を深めたりしてくれた。児童も満足感を得ることができた。</p> <p>●来年度は全学年が年に1回、何らかの形で本活動を行うことを確認した。地域の声が直接児童に届けられるような工夫ができれば、より満足感や成就感をもたせることができそうだ。</p>
神 岡 小学校	<p>「エール花火」後のクリーンアップ活動</p> <p>今年度、大仙市では「エール花火」を各小・中学校ごとに打ち上げた。本校では事前に花火師を招いて花火学習を全校で行った。打ち上げ当日は雨にもかかわらず、多くの児童が保護者とともに花火を鑑賞することができた。打ち上げ2日後には、中学校と一緒に会場のクリーンアップを実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大仙市教育委員会</li> <li>・大仙市役所神岡支所</li> <li>・神岡中央公民館</li> <li>・神岡地区交通指導隊</li> <li>・花火打ち上げ業者</li> <li>・平和中学校</li> </ul>	<p>○花火工場の見学だけでなく、花火学習会や花火鑑賞、事後のクリーンアップまで一連の流れの中で学習することができ、地元愛が更に高まった。</p> <p>●クリーンアップ活動は小中連携で実施したが、こども園との交流を図ることも検討している。</p>
中 仙 小学校	<p>八乙女学習 ～守ろう 伝えよう 地域の宝 八乙女山～</p> <p>「八乙女山を守る会」の桜守の仕事を本校6年生がお手伝いして12年目となる活動。樹木医のお話、自然観察会、施肥活動やつる切り体験、江戸時代から川湊として栄えた長野地区の歴史学習や桜の植樹等を行い、八乙女山を大切に思う先輩の熱い心に触れることを通じて、地域の宝を受け継ぐ意欲を醸成している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八乙女山を守る会</li> </ul>	<p>○「八乙女山は前九年の役古戦場跡」「江戸後期には菅江真澄も訪れた」と聞いて、歴史の舞台として自分のふるさとを誇りに思うことができていた。</p> <p>●校外にも、ふるさとである中仙や長野地区をアピールするような取組を進める。</p>
清 水 小学校	<p>学ぼう！深めよう！ふるさと清水から「黒土神楽」</p> <p>昭和63年に復活した約300年の歴史をもつ黒土神楽を6年生が下級生を指導する形で、児童の間で継承している。神楽に誇りをもつとともに、地域の一員としての自覚を高めることができる行事である。毎年、ドンパン祭りの際に地域にも披露している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒土神楽保存会</li> <li>・清水分館長</li> </ul>	<p>○地域の方々と触れ合う中で自分も地域の一員であるという意識を高めるとともに、自分が地域に貢献しているという自己有用感を実感できるようになった。</p> <p>●地域行事参加等の教育課程への位置付け、カリキュラムマネジメントが課題となっている。</p>

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
豊川小学校	<p>水神社清掃奉仕活動</p> <p>-----</p> <p>高学年児童が、県内唯一の国宝を有する学区内の神社で清掃奉仕活動を毎年行っている。郷土を愛する心や地域の一員としての自覚を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水神社総代及び氏子</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○杉の巨木が並び立っているため、落葉が大量で作業は難儀であるが終了後は達成感を味わうことができた。社殿の水拭きも行った。</li> <li>●学校統合同も踏まえ、児童会主催の活動への移行を検討していきたい。</li> </ul>
桜木内小学校	<p>避難所開設訓練</p> <p>-----</p> <p>災害が発生したとの想定（主に地震や大雨による土砂崩れ）で、本校体育館を避難場所として実施。災害時における主体的に考え判断し、行動できるようにするとともに、防災についての関心を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域青年団</li> <li>・桜木内中学校</li> <li>・仙北市総合防災課</li> <li>・角館消防署西木分署</li> <li>・仙北警察署</li> <li>・桜木内婦人会</li> <li>・仙北市子育て推進課（放課後児童クラブ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○避難所の開設・炊き出し訓練ができ、その手順を確認できた。多くの方々の参加もあり防災に関する意識を高めることができた。</li> <li>●地域青年団主催による初の開催で市当局や関係機関に頼る場面が多く、指示連絡窓口を一本化する必要がある。3密回避の方策も検討の余地がある。</li> </ul>
六郷小学校	<p>まちづくりを自分たちの手で</p> <p>-----</p> <p>六郷商店街のリノベーション活動に参加し、「自分たちにできるまちづくり」を考え、花植えや店内看板作製福引き抽選会等、体験的な活動を通じて、地域の活性化に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかエリア活性化実行委員会</li> <li>・65テラス運営合同会社</li> <li>六郷家守舎</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域とつながりながら貢献する取組によって、自分たちの可能性を感じながら地元への愛着をもつことができた。</li> <li>●コロナ禍の影響で例年より活動が制限された。そのような中であってもできることを工夫し、より継続的にリノベーション活動に取り組むことが必要。</li> </ul>
旭小学校	<p>横手やきそばをキャベツで応援！ 横手焼きそば用キャベツの収穫祭</p> <p>-----</p> <p>3年生が横手やきそばを通じて、町おこしをしている活動へ協力し、横手焼きそば用キャベツの収穫作業を行う。キャベツを通じて、横手やきそばを応援、さらには横手市の応援やPRへつなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塚堀農事生産組合</li> <li>・南旭川水系土地改良区</li> <li>・横手やきそばサンライ's</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもたちにとっても魅力ある横手やきそばに関わることにより、地域を応援していこうとする意欲や地域に貢献していこうとする気持ちを高めることができた。</li> <li>●キャベツの世話をなるべく自分たちで行う活動になるよう時間の設定や調整を検討していく。</li> </ul>

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
横手北 小学校	<p>のびる学年(6年生)「感謝プロジェクト」</p> <hr/> <p>6年生が感謝の気持ちを伝えるプロジェクトの一つ。コロナ禍で頑張っている医療従事者や普段お世話になっている公民館の皆さんに感謝の気持ちを伝える活動。自分たちが植えて刈り取った米や、手作りハンコで作成したあまびえのポスターを届けさせていただいた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県南旭川水系 土地改良区</li> <li>・市立横手病院</li> <li>・北小関連の公民館</li> </ul>	<p>○今年の現状に合わせて臨機応変な活動をすることができた。新聞の取材を受けるなど反響も大きく、どのような活動をすべきか考えるよい機会となった。</p> <p>●単学年の活動を基に、全校で取り組んだり考えたりする工夫もあれば地域との連携やその充実が一層推進される。</p>
大 森 小学校	<p>福祉施設などでのボランティア体験活動</p> <hr/> <p>総合的な学習の時間などで子どもたちが障がい者や高齢者との出会いや触れ合い体験を通じて、生命の尊さや相手を思いやる気持ちを育てている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老健「おおもり」</li> <li>・大森地域いきいきサロン</li> <li>・介護施設 「くつろぎの里おおもり」</li> <li>・介護施設「森の家」</li> </ul>	<p>○高齢者や施設に入居している方々と同じ時間を過ごし、発表や思いを伝える活動を通じて高齢者に対する優しさや思いやりが育まれている。</p> <p>●今年度は感染症対策から触れ合いや体験を行わず、発表形式の訪問となった。触れ合いや体験をすることで、より成果が実感できると思う。</p>
植 田 小学校	<p>一人暮らしの高齢者への花のプランタープレゼント</p> <hr/> <p>福祉活動の一環として、全校児童が各町内ごとに民生児童委員と一緒に一人暮らしの高齢者の家庭を訪問し、児童が書いた手紙とともに、5月から育てた花のプランターをプレゼントした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生児童委員</li> </ul>	<p>○高齢者の方々に大変喜んでいただいた。敬老精神が涵養され、福祉活動や地域活動への参画意識も高まった。</p> <p>●施設入居者やもらっても花の世話ができない等プレゼントを辞退する方々もいた。児童数が減少し、一人しかいない町内もある。</p>
駒 形 小学校	<p>地域クリーンアップ</p> <hr/> <p>地区自治会組織との共催で、学校の下校時に合わせ、通学路を中心にゴミ拾いを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会</li> <li>・地区自治会</li> <li>・PTA</li> <li>・若駒支援隊 (学校見守り隊)</li> </ul>	<p>○各地区の自治会役員や地域住民とゴミ拾いを通して交流することができた。</p> <p>●今年度は年2回であった。来年度は回数を増やしていく。</p>

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
大 曲 中学校	<p>生徒会執行部による地域貢献活動</p> <p>-----</p> <p>部活動としての「生徒会執行部」による地域と連携してのボランティア活動。若竹町内会，社会福祉協議会等と連携して商店街の清掃ボランティア，一人暮らしの高齢者宅のゴミ出し，ふれあい手紙の作成，地域の観光案内図の作成，赤い羽根の募金活動等に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若竹町内会</li> <li>・社会福祉協議会</li> <li>・大曲地域 くらしサポート協議会</li> <li>・花火通り商店街</li> <li>・大曲商工会議所</li> <li>・大曲ロータリークラブ</li> <li>・大曲史談会</li> </ul>	<p>○地域の町内会，商店街，高齢者にとっても好評であった。来年度も続けてほしいとの声が学校に届いており，やりがいを感じている。</p> <p>●新型コロナウイルス感染拡大の影響で昨年度，定期的に行っていた老人福祉施設への訪問が今年度は全くできなかった。</p>
平 和 中学校	<p>中川原公園のクリーンアップ活動</p> <p>-----</p> <p>神岡地域小・中学生へのエール花火や地域の花火大会後に，全校生徒が花火会場の中川原公園に出かけ，夢のかけら（花火の残骸）等を拾うクリーンアップを行う。自分たちや地域のために打ち上げてくれた花火業者や協力していただいた地域の方々の努力や生きがい，感謝の気持ちを学んだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神岡地域花火業者 （和火屋，北日本興業）</li> <li>・神岡小学校（5，6年）</li> </ul>	<p>○花火業者のお話を聞いたり，クリーンアップ活動を行ったりすることで，地域で働く方々の苦労や喜び，働くことの生きがいなども学ぶことができた。</p> <p>●活動の目的や地域貢献への意欲付け等の事前・事後指導を時間をかけて生徒に行う必要を感じた。</p>
西仙北 中学校	<p>みんなでラジオタイソウ クリーンアップ</p> <p>-----</p> <p>夏季休業中，西仙北小学校児童会と西仙北中学校生徒会とで行われるクリーンアップ事業。中学生も各地で朝のラジオ体操に参加した後，小・中学生が協力して地域の清掃活動を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西仙北支所 （ゴミ袋の提供）</li> <li>・保護者</li> </ul>	<p>○地域へ貢献するという意識の高まりや，活動後の達成感を味わえることと，中学生のリーダーシップの育成が挙げられる。</p> <p>●雨天時の対応について，連絡方法を含め検討の余地がある。</p>
中 仙 中学校	<p>秋桜プロジェクト(桜守活動)</p> <p>-----</p> <p>全校生徒で，齊内川土手の桜の木の追肥作業やせん定作業，河川敷の花壇に秋桜を植える作業を行った。中仙地域桜守協議会や八乙女山を守る会の方々の指導や協力の下，一年を通じて季節に応じた活動ができた。樹木医の話や活動から桜の木を守り育てようとする態度を養った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中仙地域桜守協議会</li> <li>・八乙女山を守る会</li> <li>・市職員</li> <li>・道の駅職員</li> </ul>	<p>○桜の保護活動について，その大変さと必要性を感じる事ができた。桜の名所であることを再認識し，維持保護していこうとする気持ちを高めた。</p> <p>●用具の確保が難しく，効率よく作業を進めることができなかった。時期によっては蜂や毛虫等の害虫が多く，かなり危険で注意が必要であった。</p>

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
仙北中学校	<p>旧池田氏庭園ボランティア学習</p> <p>2年生が国指定名勝「旧池田氏庭園」でボランティアを行う。大仙市文化財課の方々から、ガイドの心構えや話し方を指導してもらい、洋館や雪見灯籠等の各ポイントで5グループに分かれガイドの実践を行った。ふるさとの有り難さや人の温かさに触れるよい機会となっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大仙市文化財課</li> <li>・顕彰会ガイド</li> <li>・生徒の家族</li> </ul>	<p>○2年時に郷土の文化遺産についての知識を深め自分たちとは違う視点から地域の遺産の価値を学ぶことにより、ふるさとに誇りをもつことができた。</p> <p>●この経験を活かして、休日や祝日にも自主的にボランティア活動に参加しようとする意欲を育てたいと考えている。</p>
太田中学校	<p>「ハートフルフラワー」プロジェクト</p> <p>学校で生徒が丹念に育てた鉢花（ベゴニア）を一人暮らし高齢者宅と太田地域にある2カ所の高齢者福祉施設に贈呈する。高齢者の方々に関わることで、地域の高齢化の実態を学び、今後の太田地域を考える体験活動である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太田社会福祉協議会</li> <li>・特別養護老人ホーム「真木苑」</li> <li>・有料老人ホーム「ふじの華」</li> </ul>	<p>○とても好評である。花を贈られた高齢者が生徒に感謝の意を示してくれたことで、生徒は活動の意義を感じ、今後も継続していきたいという意欲に繋がっている。</p> <p>●生徒数の現状と増え続ける一人暮らし世帯の関係がアンバランスで、全ての該当者に対応できない。地域の世話人と連携して実態を把握し、活動にあたりたい。</p>
生保内中学校	<p>スノーバスターズ</p> <p>1, 2年生で、地域の高齢者世帯の雪寄せを行う。社会福祉協議会の協力の下、除雪を行うとともに、高齢者の方々とコミュニケーションを取ることで主体的に地域貢献を行う気持ちを醸成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会</li> </ul>	<p>○感謝の声をかけてくださるなど除雪したお家の方々に大変喜んでいただいた。活動した生徒は成就感を味わい、次の活動の意欲につながっていた。</p> <p>●雪の降り方によって、活動が中止になることもある。実施時期と必要な時期のずれも生じる。</p>
神代中学校	<p>抱返りクリーンアップ活動</p> <p>観光客が多く訪れる仙北市の新緑、紅葉の名所である抱返り溪谷の清掃活動を全校生徒で行う。この活動を通じて、環境美化への意識、公共心を養うとともに、地域の一員として社会と関わる姿勢を実体験する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙北市観光課</li> <li>・シルバー人材センター</li> <li>・抱返り神社禰宜</li> </ul>	<p>○抱返り神社の禰宜にお願いして神社にまつわる地域の歴史についてお話をしてもらい、ふるさとへの愛着心が高まった。</p> <p>●地域貢献活動の一つとして、現在の年一回の活動から回数や場所を増やしていくことも考えられる。</p>

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
<p>桧木内 中学校</p>	<p>紙風船づくり</p> <p>「上桧木内紙風船上げ保存委員会」の方々と共同し、地域の伝統行事「紙風船上げ」に使う紙風船3基を制作する。活動を通して、ふるさとの伝統を継承していく心情を高めるとともに、活性化に向け、どう観光客を集めるかどう地域を支えていくかにも考えを及ぼせ、地域の担い手としての自覚をもたせていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上桧木内紙風船上げ保存委員会</li> <li>・ひのき清流会</li> </ul>	<p>○活動を継続していることで、地域の伝統を後世に伝えていこうとする意欲が喚起され、年々強化されている。今年度は行事を中止したが伝統の継承のため、園・小・中合同で冬祭りを計画した。子ども同士のつながりに加え、地域全体のつながりに進展していってくれることを期待している。</p> <p>●生徒数減による制作個数の減少、行事に参加できないということがあり得るということを危惧している。</p>
<p>横手南 中学校</p>	<p>防災ボランティア活動</p> <p>自宅から避難所までの経路を確認するとともに、非常災害時に地域に貢献する態度を学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区内各町内会</li> </ul>	<p>○自分の住んでいる地区の避難所を確認するとともに、地域の方々と触れ合うことで地域に貢献する気持ちを高めることができた。</p> <p>●今年度から始めた活動ということもあり、地域の方々と日程を合わせることが難しい面があった。来年度は小学校との連携の可能性を探りたい。</p>
<p>増 田 中学校</p>	<p>まちを花いっぱいにしてプロジェクト</p> <p>町の中心街の通りに、プランターに植えた花苗を各商店等において玄関先に置いてもらう。そのことで観光客により気持ちよく増田の町並みを散策してもらえるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・増田町観光協会</li> <li>・まちなみ保存会</li> <li>・増田地域局</li> </ul>	<p>○町並みが明るくなるとともに生徒が町の営みに貢献している実感を得ることができた。</p> <p>●プランターを置いた後の世話等についてはお店の方々にお願いすることが多く、難儀をかけることとなった。</p>
<p>横手明峰中学校</p>	<p>明峰中生の力を地域に発信する「外部発信活動」</p> <p>学校祭を規模縮小で実施する際、「外部発信」部門をつくり、次のような活動をした。学校や生徒の様子を紹介するポスターやメッセージカードを作り、学校祭で来校したお客様や地域の小学生に配布した。マスク、ぞうきん、おもちゃ、紙芝居を作り、地域の施設や保育園に寄贈した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人養護施設</li> <li>・保育園</li> <li>・学区内各小学校</li> </ul>	<p>○生徒自身が地域貢献についてよく考え、必要感や衛生面に気を配りながら活動することができた。好評だったことで生徒の達成感が大きかった。</p> <p>●初めての取組だったため、手探りで進めていった。学校や生徒の様子をどのような方法で発信していくかは更に検討が必要である。</p>

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
横手清陵学院 中学校	<p>生徒会夏季ボランティア（横手市内クリーンアップ）</p> <p>「地域にもっと貢献したい，地域の役に立ちたい」という生徒会執行部の声により行われた活動。地域の一員として地域に貢献する意欲を育てる。</p>		<p>○生徒会執行部が企画運営し，多くの生徒が賛同する活動となった。生徒の主体性ととも地域貢献への意欲も高まった。</p> <p>●PTAや地域団体等との連携を図ることで地域活動へ参画する意識を更に高めていきたい。</p>
山田 中学校	<p>YAMACHUコーポレーション （地域貢献を目指す総合的な学習の時間）</p> <p>全校生徒で作った会社組織で取り組む起業学習の3年目。コロナ対策として，昨年度同様の積極的な学校外での活動は自粛したが，会社組織を改編し，多面的に地域貢献を目指した。地元の発酵食品を利用した食品等の商品を開発して宣伝・販売，地域のクリーンアップ，コロナ感染拡大防止を呼びかける看板等の製作を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食センター</li> <li>・障害者就業・生活支援センター</li> <li>・地域の味噌醸造所</li> <li>・地域の商店</li> <li>・レストラン</li> <li>・アクセサリー作家 他</li> </ul>	<p>○組織を改編し，生徒一人一人が自分の目標をつとことができた。限定的ながら，事業所等で働く方々とのコミュニケーションを図る経験ができた。</p> <p>●コロナ禍における活動の態様。（交流できる対象が限定，縮小された。）地域の中学生としてのさらなる学習活動の精選と深化。</p>
湯沢南 中学校	<p>オリジナルスイーツを施設に提供</p> <p>生徒が地元で生産されたサクランボの果肉を使ったフルーツソースを考案し，オリジナルスイーツを市内の菓子製造販売会社と共同開発する。また，製品を養護老人ホーム等市内の施設に寄付する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サクランボ生産農家</li> <li>・菓子製造販売会社</li> <li>・養護老人ホーム</li> </ul>	<p>○コロナ対策で学校祭に地域の方々を案内できなかったが，地域業者との協働で施設に寄付ができ，地元を元気にする活動ができた。</p> <p>●製品の商品化や販売について検討し，農家や団体，業者との連携のあり方を工夫改善していく必要がある。</p>
東成瀬 中学校	<p>キバナコスモス植栽活動</p> <p>この活動は東成瀬村小中連携教育事業の一環として行われており，小・中学校周辺と村道，国道沿いにキバナコスモスを植栽する活動である。様々な方々と交流する中で「協力する心」，「優しい心」，「奉仕の心」を育むことを目的としている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村建設業協会</li> <li>・村役場企画課</li> </ul>	<p>○新型コロナウイルス感染防止のため，小学生や地域の方々との協働はなかったが，きれいなキバナコスモスを咲かせたことで，多くの方々から感謝のことばをいただいた。</p> <p>●新型コロナウイルス感染防止に努めながら，どのような形で小学生や地域の方々と関わっていくかを今一度検討する必要がある。</p>

〔活動内容〕② 学校が地域に貢献する活動

学校名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
大 曲 支援学校	<p>ふるさとを大切にする気持ちを育てる クリーンアップ活動</p> <p>-----</p> <p>中学部全員でクリーンアップ活動を年8回行った。学校周辺地域、花火大会会場となる雄物川河川敷やスクールバス乗降場所等、日頃お世話になっている場所をきれいにすることで、地域の方々やふるさとを訪れる方々にも喜んでもらいたいという気持ちが育っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会議所</li> <li>・商店街</li> <li>・大曲支援学校をささえる会</li> </ul>	<p>○同じ場所を何度か繰り返し行うことで、ごみが少なくなってきたなどの成果を実感できた。地域の方々に感謝の言葉を掛けられることが増えた。</p> <p>●生徒が地域のよさを発見できること、かつ安全なクリーンアップ箇所を検討することが必要である。</p>
大 曲 支援学校 せんぼく校 (小学部)	<p>「せんぼく季節のカレンダー」配付</p> <p>-----</p> <p>開校当時から継続している活動である。児童が制作した「せんぼく四季のカレンダー」を仙北市内およそ30か所に配付している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援ボランティア (カレンダー制作)</li> <li>・仙北市役所</li> <li>・角館郵便局</li> <li>・JR角館駅 他</li> </ul>	<p>○今年度は、絵柄に「角館音頭」を取り入れたことで好評だった。また、カレンダー配付が児童にとって外部の方々から評価をいただける貴重な機会にもなっている。</p> <p>●新型コロナウイルス感染症対策もあり、カレンダーを掲示、活用している場面を見学する機会が十分とれなかった。</p>
稲 川 支援学校	<p>「第3回ふれあいマルシェ」における作業学習製品の販売活動</p> <p>-----</p> <p>高等部生徒8名が湯沢雄勝地域包括支援ネットワーク協議会アンテナショップ「第3回ふれあいマルシェ」において、作業学習製品の販売活動を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湯沢雄勝地域 包括支援ネットワーク協議会</li> </ul>	<p>○作業学習製品販売や湯沢市役所及び商店街でのチラシ配りを通して、生徒一人一人が自分たちの作った製品のデザイン品質等に自信をもつことができた。</p> <p>●活動に参加するに当たっての事前学習や振り返りの時数確保。</p>

〔活動内容〕③ 主に学校と連携して実施している活動（放課後子ども教室事業等）

市町村名／所属名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
<p>横手市</p> <p>生涯学習課</p>	<p>協働活動</p> <p>学校の教育活動に協力くださる学校支援ボランティア登録者が240名おり、学校は必要な人材を登録名簿から探して依頼することができる。学校と地域住民との連絡調整を行うコーディネーターも順次配置し、地域の活動に学校側も関わり、双方向型の活動を推進している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA</li> <li>・婦人会</li> <li>・生涯学習活動団体</li> <li>・公民館職員</li> <li>・地元企業及び事業所</li> </ul>	<p>○地域の人材を活用して教育活動の多様化・活性化を地域で支えることができた。</p> <p>●活動の多くが学校支援活動にとどまっている。</p>
<p>湯沢市</p> <p>雄勝生涯学習センター</p>	<p>雄勝地域児童生徒芸術作品展（雄勝っ子ギャラリー）</p> <p>小・中学生が授業で制作した作品（絵画・書道・研究作品等）の校内展示期間等がコロナ禍のため縮小されたことから、雄勝文化会館ギャラリーで作品の展示（月1回入替）をする。市民に広く公開することにより、学校教育及び芸術文化への関心を深めてもらうとともに、児童生徒の学習意欲向上を図ることを目的とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雄勝小学校</li> <li>・雄勝中学校</li> <li>・生涯学習サークル</li> <li>・図書館職員</li> <li>・地域写真館</li> <li>・地域伝統文化継承者</li> <li>・生涯学習センター職員</li> </ul>	<p>○コロナ禍で、学校に作品を見に行く機会がなくなったが、雄勝文化会館に展示することで学校での活動や児童生徒の頑張りを広く周知することができた。</p> <p>●作品展の開催は児童生徒の家庭へ学校報で周知したが、もっと多くの市民に周知する工夫が必要である。来年度に向けて検討したい。</p>
<p>羽後町</p> <p>教育委員会</p>	<p>読み聞かせと工作教室</p> <p>長期休業期間中に羽後明成小学校と高瀬小学校の放課後子ども教室で、町内で活動しているボランティア団体に依頼し、絵本の読み聞かせと工作教室を行った。読み聞かせ後には児童が絵本の感想を伝える場面もある。工作づくりではお互いに教え合いながら楽しんだ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本とあそぼの会</li> </ul>	<p>○学校以外の時間にボランティアの方々とは触れ合い、他者と協力して物事に取り組む姿勢を育むことができた。</p> <p>●年に3回ほど実施しているが、交流する人が限られている。地域に関係のある題材を取り入れるなどの検討を行いたい。</p>
<p>東成瀬村</p> <p>教育委員会</p>	<p>放課後子ども教室 仙人郷「虎の穴」</p> <p>児童館において放課後児童クラブと放課後子ども教室を一体型で実施しており、放課後の子どもたちへの学習指導や安心安全の場の提供をしている。外部指導者を講師に迎え、様々な運動・スポーツを体験するアスリートタイムや村にある遺跡の発掘調査や土器・勾玉作り等を体験する縄文体験教室を開催。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校</li> <li>・中学校</li> <li>・児童館</li> <li>・地域ボランティア</li> <li>・老人クラブ</li> </ul>	<p>○世代間交流を行い、多くの人との関わりの中で活動できた。様々な活動を通じて、子どもたちの興味・関心を高め、健康づくりや豊かな感性を育むことに寄与できた。</p> <p>●地域指導者の高齢化及び減少に伴い、知識や技術の伝達が課題となっていることから新たな人材の発掘・育成が必要である。</p>

〔活動内容〕④ 主に地域と連携して実施している活動（公民館活動で児童生徒が係わる活動等）

市町村名／所属名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
大仙市 生涯学習課	<p>わくわく体験教室「西仙北学び教室」</p> <p>夏休みと冬休みに西仙北地域の小学生を対象に，高校生ボランティア，NPO法人，地域おこし協力隊等が協力・連携し，学びと体験の機会を創出するため実施している。内容は学習支援のほか，ガラス風鈴の絵付けや思い出のアルバムづくり等を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人「すこやかサポートにしせん」</li> <li>・高校生ボランティア</li> <li>・地域おこし協力隊</li> </ul>	<p>○感染症予防のため，様々な行動が制限されている中で，地域の力で子どもたちの体験活動や思い出づくりに貢献することができた。</p> <p>●事業を継続するための担い手の育成を検討したい。</p>
大仙市 生涯学習課 各公民館	<p>地域の先生出前講座</p> <p>コロナ禍の中で，放課後児童クラブで過ごす時間が増えている子どもたちのために，長期休業期間中に学びと触れ合いの機会を創出しようと地域人材「地域の先生」が放課後児童クラブへ赴き，体操教室や読み聞かせ講座等，市内各地で13教室の出前講座を実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種ボランティア団体</li> <li>・スポーツクラブ</li> <li>・協働活動サポーター</li> <li>・大仙民話の会</li> <li>・地域おこし協力隊</li> <li>・市職員</li> <li>・公民館職員</li> </ul>	<p>○アンケートの結果，全ての教室で「良かった」との回答を得ることができた。コロナ禍でもできる学びの創出が実現できた。</p> <p>●放課後児童クラブとの連携事業として継続するため内容を検討していきたい。</p>
仙北市 生涯学習課	<p>子ども演劇体験講座</p> <p>夏休みの4日間，市内の小・中学生を対象に演劇体験活動を実施した。演劇を通じて，豊かな表現力やコミュニケーション能力の向上を図り，仲間と一緒に劇を作り上げる達成感を体験した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わらび座劇団</li> <li>・小・中学校教職員</li> </ul>	<p>○回を重ねるごとに，子どもたち同士だけではなく，講師や職員へも積極的に話しかけるなど，コミュニケーション能力の向上が見られた。</p> <p>●役者から直接指導を受けることができるため，受講者の満足度はとても高いが，その魅力を周知の段階で十分に伝え切れていない。</p>
仙北市 角館公民館	<p>親子ソーパークーピング教室</p> <p>夏休みと冬休みに，親子の絆を深めることを目的としてソーパークーピング教室を開催した。広報で参加者を募集し，のべ11組28名が参加した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習奨励員</li> </ul>	<p>○ソーパークーピングを体験できる貴重な教室で，2回参加する親子もおり，好評を得ている。</p> <p>●小学生対象の募集であったが，スポ少などの関係で低学年の参加者が多かった。開催時期を限定せず募集するなど，参加者の幅を広げることを検討する。</p>

〔活動内容〕④ 主に地域と連携して実施している活動（公民館活動で児童生徒が係わる活動等）

市町村名／所属名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
仙北市 田沢湖公民館	大曲支援学校せんぼく校 第2回せんぼく桜スクール せんぼく校では卒業生の親睦を図るために様々な体験活動を行う「せんぼく桜教室」を開催している。今回はヨガ教室を実施し、田沢湖公民館では講師派遣という形で連携した。講師の指導の下で、準備運動から本格的なポーズまで体験した。	・大曲支援校せんぼく校 ・ヨガ講師	○ヨガで体を動かすことができ、参加者もいい気分転換となった様子。近況報告や感想を話し合うなど楽しい時間となった。 ●初めての試みとして開催したが、今後も継続的な事業展開を目指して検討を行っていきたい。
仙北市 西木公民館	美術品を学ぶ 西明寺小学校の6年生が地元の画家の個展を鑑賞し、画家本人からもお話を伺うなど、美術の関心を深めた。美術館の学芸員から常設展示の解説をしてもらった。	・地元の画家 ・美術館職員	○画家本人から直接お話を伺う機会が少ないため貴重な体験となった。 ●美術品を鑑賞したり、話を聞いたりするだけでなく、それを生かして制作体験までを一つの取組としたい。
美郷町 美郷町公民館	わくわくスクール 町内の小学生を対象に、健やかな成長の一助となるよう、様々な体験活動や学習の場を提供するため開催している。地元で活躍されている方々や有資格者を講師に招き、地域学校協働本部と家庭教育支援チーム（町生涯学習奨励員協議会）の協力を得ながら実施している。	・地域ボランティア ・家庭教育支援チーム	○体験活動や学習を通じて、子どもたちの健やかな成長や自主性、創造性、協調性が育まれた。保護者間のつながり構築に寄与した。 ●小学校高学年はスポ少等で多忙のため、参加率が低い。
横手市 生涯学習課	横手市わくわく子ども教室 長期休業中の小学1～3年生を対象に、地域住民の参画による様々な体験活動の機会を提供する。今年度は冬休み中の3日間、公民館等に16教室を開設。午前9時～11時30分までで、前半が自主学習、後半が体験活動である。体験内容は、しめ飾りづくり、昔遊び、ニュースポーツ、雪遊び等多彩。	・生涯学習活動団体 ・教員OB ・公民館職員	○核家族が増える中、あらゆる年代・立場の人と触れ合える場になっている。 ●緊急時の連絡体制（メール等）を整える必要がある。

〔活動内容〕④ 主に地域と連携して実施している活動（公民館活動で児童生徒に係わる活動等）

市町村名／所属名	活動名／活動の概要	連携した地域人材や団体等	○成果／●課題
<p>横手市</p> <hr/> <p>生涯学習課</p>	<p>家庭教育支援事業</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横手市家庭教育支援チームが子育ての悩みを抱える保護者からのメールや電話等の相談に対応した。</li> <li>・父親の家庭教育参加促進による家庭での教育力向上を目的に父親と子どもを対象とした体験講座。「お父さんとオンラインで『クイズ大会』に挑戦！」を開催した。（4組8名の参加）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横手市家庭教育支援チーム</li> <li>・パパ's サークル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者にとって、学校や行政機関以外の相談の選択肢が増えた。</li> <li>○コロナ禍で活動が制限される中でも、オンラインイベントを通じて親子で触れ合う時間をつくることのできた。</li> <li>●家庭教育支援チームメンバーのスキルアップ。</li> <li>●支援を必要としている方々に情報が届くPRの仕方。</li> </ul>
<p>湯沢市</p> <hr/> <p>稲川生涯学習センター</p>	<p>新春書き初め大会</p> <hr/> <p>小・中学生を対象に、新年を迎えた気持ちを日本の伝統文化である「書」で表し、子どもたちの心を育み、参加者の交流を図ることを目的に実施している。半紙の部と条幅の部で行い、最優秀賞、優秀賞、優良賞を審査し賞状を授与する。作品は審査後に展示し、公開する。皆瀬生涯学習センターとの共催事業。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の書道指導者</li> <li>・各学校長及び担当教職員</li> <li>・生涯学習センター職員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新年らしい恒例行事として定着し、学校以外での学習活動の発表の場となっている。良き伝統文化の継承も担う。</li> <li>●児童生徒の減少に伴った参加者数の減少。冬期間のため、会場までの送迎と会場の駐車スペース。</li> </ul>